

たねやま種雄牛だより

Since 2004.4

岩手県農業研究センター畜産研究所種山畜産研究室 TEL: 0197-38-2312 FAX: 0197-38-2177

育種価が更新されました！（令和5年4月評価）

（公社）全国和牛登録協会が評価した育種価が令和5年4月に更新されました。指数値順位が上位の県有種雄牛5頭の育種価評価（供用中の県基幹種雄牛内順位）は、以下のとおりです。

百合花智

指数値 **1** 位、枝肉重量 **2** 位、バラ厚 **1** 位、歩留 **4** 位、脂肪交雑 **1** 位

美津貴（新規）

指数値 **2** 位、ロース芯 **1** 位、バラ厚 **5** 位、歩留 **3** 位、脂肪交雑 **2** 位

花金幸

指数値 **3** 位、枝肉重量 **4** 位、ロース芯 **5** 位、バラ厚 **2** 位、皮下脂肪 **2** 位、歩留 **1** 位

飛良智

指数値 **4** 位、枝肉重量 **1** 位、ロース芯 **3** 位、バラ厚 **4** 位、皮下脂肪 **4** 位、歩留 **5** 位

百合雲

指数値 **5** 位、枝肉重量 **3** 位、ロース芯 **2** 位、脂肪交雑 **4** 位

新しい育種価（雌牛）については、子牛市場開設日の研修室内、広域振興局の農政（林）部、農林振興センター及び普及センター等でご提供していますので、気軽にお問い合わせください。

【右面及び裏面： σ （シグマ）標記】

「H」は、 1.28σ 以上であり、本県の牛群の上位 10%に含まれるトップランクの評価です。

「A」は、 0.67σ 以上 1.28σ 未満であり、上位 10%~25%の評価です。

「B」は、平均以上 0.67σ 未満であり、上位 25%~50%（平均）の評価です。

指数値順位

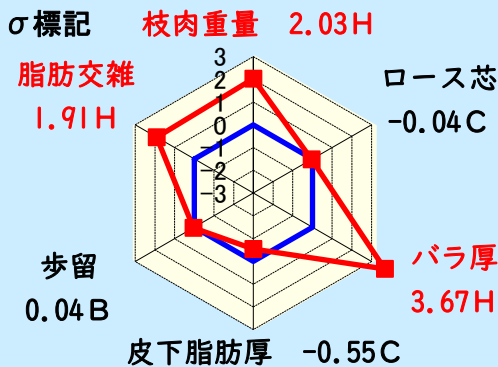
※ 岩手県の改良方針に沿って3形質
(枝肉重量、歩留、脂肪交雑)から算出した総合評価値

前年デビューの「**百合花智**」が県有種雄牛中の指数値順位で首位継続中です。また、今年デビューした「**美津貴**」が**脂肪交雑**でH評価、**ローズ芯面積**でA評価であり、サシ・造りに優れた種雄牛として期待が高まります。

1. 百合花智 (ゆりはなとも)



飛良美継×百合茂×第1花国

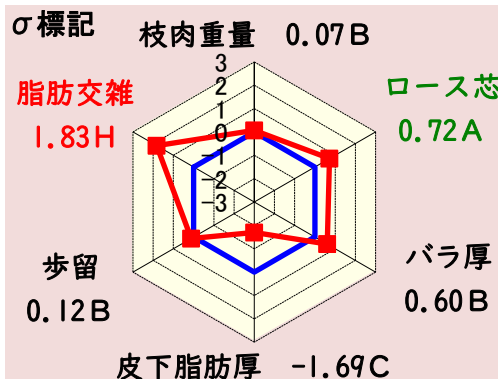


育種価	
枝肉重量	101.38
ローズ芯面積	14.96
バラの厚さ	2.10
皮下脂肪厚	-0.18
歩留基準値	2.40
脂肪交雑基準値	3.77

2. 美津貴 (みつぎ)



美津照重×百合茂×安平

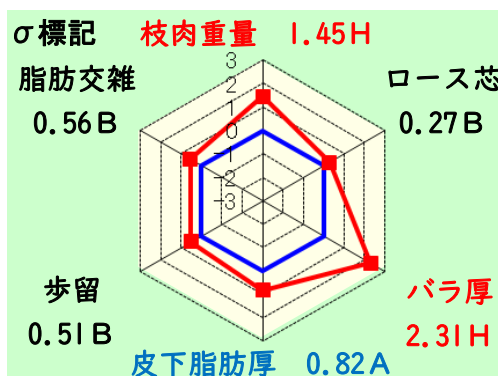


育種価	
枝肉重量	53.92
ローズ芯面積	19.20
バラの厚さ	1.16
皮下脂肪厚	0.23
歩留基準値	2.48
脂肪交雑基準値	3.73

3. 花金幸 (はなかねゆき)



第1花国×金幸×平茂勝



育種価	
枝肉重量	87.25
ローズ芯面積	16.71
バラの厚さ	1.69
皮下脂肪厚	-0.67
歩留基準値	2.86
脂肪交雑基準値	3.02

令和5年度 現場後代検定開始!!

前号（第230号）で、今年度現場後代検定※を開始した「**久隆照**」号をご紹介しましたが、本号は、「**秀茂久**」号と「**重桜**」号をご紹介します。

調査牛の斡旋会はそれぞれ5月9日、12日に開催され、1頭毎に産子の発育や父牛の特徴が引き継がれているか等の確認を行った後、肥育農場へと引き渡されました。

これら調査牛は、去勢で29カ月齢、雌は32カ月齢まで**約2年間肥育**されます。

※ **現場後代検定**は、直接検定で選抜された基幹種雄候補牛の産子を肥育し、その枝肉成績から**候補牛の産肉能力を推定するために実施するもの**です。

秀
茂
久



繁殖者 奥州市江刺 及川保範 氏

1代祖	菊勝久
2代祖	第2平茂勝
3代祖	菊福秀
4代祖	福 栄
5代祖	北国7の8

【期待育種価】

枝重	ロース	バラ	皮下	歩留	BMS
A	B	A	C	C	B

((公社)全国和牛登録協会による R05.04 評価)

【ゲノム育種価】

枝重	ロース	バラ	皮下	歩留	BMS
C	C	C	B	B	C

(本県による R05.05 評価)

母「**ふくしげ**」号は、県南和牛育種組合認定の育種牛かつ県の基礎雌牛で、**枝肉重量**、**バラの厚さ**及び**脂肪交雑**に優れています。

本牛は、兵庫系県有種雄牛「**菊勝久**」号の後継です(令和4年度開始「**福太郎3**」号の半きょうだい)。

重桜



繁殖者 九戸村 大崎幸夫 氏

1代祖	美津照重
2代祖	勝早桜5
3代祖	安福久
4代祖	平茂勝
5代祖	忠 福

【期待育種価】

枝重	ロース	バラ	皮下	歩留	BMS
未判明					

((公社)全国和牛登録協会による R05.04 評価)

【ゲノム育種価】

枝重	ロース	バラ	皮下	歩留	BMS
C	B	C	A	A	C

(本県による R05.05 評価)

本牛は、ゲノム育種価で選抜された基礎雌牛「さきこ」号に「**美津照重**」号を交配して生産されました。ロース芯面積、皮下脂肪の厚さ及び歩留のゲノム育種価が高く、「**枝肉の造り**」に期待しています。

室長 今野の改良日記 「他人の禪(ふんどし)」

「原産地」は原料や製品が作り出された場所という意味の他にも、動植物のもともとの生息地や製品が最初に作り出された所という意味でも使用される。この意味からすると、鹿児島県から導入した雌牛に、北海道の民間種雄牛を交配して生産した子牛は、産地：岩手県、原産地：北海道・鹿児島県となる。子牛を高く売っても、他人の禪で相撲を取っているに過ぎない。

和牛改良の先人は「雄と雌が揃って産地」と教えている。地元で造成した種雄牛と、地域で改良された雌牛集団が揃って名実ともに産地であると。

早く自前の立派な禪を作らなければと痛感する日々である。



～種山の情報誌・SNSはこちらのQRコードからチェック～
 ← 【たねやま種雄牛だより】【子牛市場成績】のバックナンバー
 Facebook アカウント“いわて畜産振興ネット” →

